

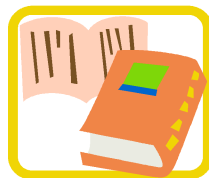
本校の学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします

4月19日に中学3年生を対象として、全国学力・学習状況調査が実施されました。調査内容は、①教科（国語・数学）に関する問題と、②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査に分かれています。各教科ともA：主として「知識」に関する問題と、B：主として「活用」に関する問題で構成されています。

本調査は、本校の生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態などを明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善、生活指導などに役立てることを目的としています。

本校では、文部科学省から送られた調査結果の分析を行いました。このたび分析結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。

今後ともご指導ご支援をお願いいたします。



各教科の概要

国語

1 本校の現状（全国との比較）

A：主として「知識」に関する問題

- ・全体的に全国の平均正答率とほぼ同じである。
- ・無解答率では、全設問で全国とのあきらかな差はみられないが、「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」「文脈に即して漢字を正しく書く」が高い値を示した。

B：主として「活用」に関する問題

- ・全体的に全国の平均正答率とほぼ同じである。
- ・無解答率では、多くの設問で全国とのあきらかな差はみられないが、「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く」が高い値を示した。

2 本校の分析結果

A：主として「知識」に関する問題

- 言葉遣いや構成を踏まえた表現ができる生徒が多い。
- 語句についての理解や使用が定着している。
- 書き手の思いを想像しながら読む力の定着がみられる。
- △語彙の意味や使い方に関する設問の正答率が低く、無解答率も高い傾向がある。漢字を読むことはできても、書くことは苦手としていたり、慣用句的な語彙が不足していたりする傾向がある。
- △意見を根拠を挙げて表現する方法がまだ身についていない実態がある。
- △書写で学習した事項の定着が図られていない。

B：主として「活用」に関する問題

- 活用問題に意欲的に取り組む姿勢がみられた。
- 文章から求められている情報を探し、適切に抜き出す力の定着が図られている。
- △自ら課題を持ち探求するための手段がまだ身についていない生徒がみられる。
- △調べたことについて自分の意見を持ち、根拠を明らかにして述べる力が身についていない生徒がみられる。

3 教科における主な改善点

- ・日常的に積極的に漢字を使って文を書くように指導し、既習漢字の習熟を図るようにする。
- ・親しみのない語句は意味を調べ、学んだ語句を生活の中で使うように指導していく。また、適切な選書の方法を指導し、さらなる読書活動の推進を図って語彙を豊かにさせていく。
- ・書写で学習したことを生かして文字を書いたり表現したりするよう指導し、他教科においても指導してもらえるよう教科間連携を図る。
- ・目的に応じ、文種や構成・展開を選んで書く方法を復習し、書く機会を増やす。
- ・自ら課題を持ち、学習計画を立てて調べ学習する機会を設ける。
- ・理由や根拠を明確にして意見を書いたり話したりする具体的な方法を復習する。また、聞いたり読んだりする際には、意見の理由や根拠に注目して聞き取るように指導する。
- ・要約の手段方法を復習し、文章にまとめたり、概要を仲間に話して伝えたりする場面を増やす。
- ・内容だけでなく、表現方法から意図をくみ取り、自分の意見をもつ学習を計画し、実施する。

数学

1 本校の状況（全国との比較）

A：主として「知識」に関する問題

- ・全体的に全国の平均正答率とほぼ同じであるが、領域別では、「関数」や「図形」の設問に正答率が低い傾向がみられた。

- ・無解答率では、5つの設問（主に図形と関数）で高い値を示した。

B：主として「活用」に関する問題

- ・全体的に全国の平均正答率とほぼ同じである。
- ・無解答率では、記述式問題に高い傾向があるが、特に4つの設問（主に証明）で高い値を示した。

2 本校の分析結果

A：主として「知識」に関する問題

- 「数と式」「資料の活用」での基本的な知識・技能は、ほぼ全国並みと考えられる。
- △図形の設問で、ねじれの位置の理解が不十分であるという結果があらわれた。2直線が交わらず、平行でもないということがねじれの位置であることを理解させる必要がある。
- △1次関数の変化の割合と傾きの関係が不十分であると考えられる。また、グラフ上での傾き、変化の割合、 $y = ax + b$ のaの関係の理解を深める必要がある。
- △「図形」「関数」の基本的な知識・技能に課題がみられる。特に、分数や小数の乗除の計算が苦手な生徒が若干見受けられる。
- △無解答率の高さから、数量の関係を文字式に表すことが苦手とする傾向がみられる。

B：主として「活用」に関する問題

- 与えられた情報から必要な情報を適切に選択できる力の定着がみられる。
- △変化の割合と1次関数の関係の理解が不十分であると考えられる。
- △図形の定義、性質の理解が不十分であると考えられる。
- △「証明や説明」を求める問題の無解答率が高いことから、苦手意識を持っている傾向がみられる。

3 教科における主な改善点

- *基礎的・基本的な計算技能のさらなる習熟を図るため、繰り返し練習する機会を設ける。
- *図形に対する理解を深めるために、図形の特徴と対応付けて作図をさせることを繰り返し指導する。
- *日常の事象や身の回りにあるものを題材として、その中にある数量関係を図や表を用いて導き出せるよう繰り返し指導する。
- *問題を解決する方法を、単に知識として習得するだけではなく、式や文章を用いて、解決する方法を数学的に説明する場面をできるだけ授業の中に取り入れていく。

質問紙調査の概要 【全国の生徒と比較して】

学校や家庭での生活について

- 肯定的に回答した生徒が、全国平均を上回っている設問は次の通りである。
 - 「家の人と学校での出来事について話しますか」
 - 「学校に行くのは楽しいと思いますか」
 - 「あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っただけで学級のきまりなどを決めていていると思いますか」
 - 「学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」
 - 「読書は好きですか」
- 学校の授業以外に1時間以上読書をする回答した生徒が多い。
- 「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」の設問で、週や月に数回行くと回答した生徒が全国の平均を上回っている。
- 「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか（携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む）」の設問を、肯定的に回答した生徒が多い。
- △肯定的に回答した生徒が、全国平均を下回っている設問は次の通りである。
 - 「朝食を毎日食べていますか」
 - 「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」
- △「普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか」の設問で、午後11時以降と回答した生徒が全国の平均より多い。
- △「普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）」の設問で、2時間以上と回答した生徒が全国の平均より多い。
- △「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」や「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」、「将来の夢や目標を持っていますか」の設問を、肯定的に回答している生徒の割合が低く、課題がみられる。

授業について

- 肯定的に回答した生徒が、全国平均を上回っている設問は次の通りである。
 - 「学校で、好きな授業がありますか」
 - 「『総合的な学習の時間』の勉強は好きですか」

- 「1, 2年生のときに受けた授業では, 生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」
- 「1, 2年生のときに受けた授業では, 話し合う内容を理解して, 相手の考えを最後まで聞き, 自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか」
- 「1, 2年生のときに受けた道徳の時間では, 自分の考えを深めたり, 学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか」
- 「生徒の間で話し合う活動を通じて, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることができていると思いますか」
- 「400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」
- 「学校の授業などで, 自分の考えを他の人に説明したり, 文章に書いたりすることは難しいと思いますか」

○『総合的な学習の時間』の授業で学習したことは, 普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか」や「1, 2年生のときに受けた授業では, 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか」の設問を肯定的に回答した生徒の割合が高い。

△肯定的に回答した生徒が, 全国平均を下回っている設問は次の通りである。

- 「1, 2年生のときに受けた授業の中で, 目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」
- 「1, 2年生のときに受けた授業の中で, 授業で扱うノートには, 学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか」
- 「最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」

△「国語の授業で学習したことは, 将来, 社会に出たときに役に立つと思いますか」や「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」の設問を肯定的に回答している生徒の割合が低く, 課題がみられる。

家庭学習について

△「家で, 自分で計画を立てて勉強をしていますか」や「家で, 学校の宿題をしていますか」, 「家で, 学校の授業の復習をしていますか」の設問で, 肯定的に回答した生徒は全国平均を下回っている。

地域との関わりについて

○「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」の設問で, 肯定的に回答した生徒が多い。

△「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の設問で, 肯定的に回答した生徒は全国平均を下回っている。

質問紙調査からの改善策

☆学校に行くのは楽しいと感じ, 学校での様子を家の人に伝えている生徒が多い。話し合いの場面では他人の意見を尊重し, バランスをとろうとする生徒が多い。読書好きな生徒が多く, 図書館の利用や1日の読書量も全国平均より多い。引き続き, 朝読書や図書委員会の活動等読書の啓発を行っていく。

★携帯やスマホの依存度が高く, 就寝時刻が遅くなっていることと関連があると考えられる。また, 自分の考えや意見を伝えることが苦手で, 挑戦することや将来の夢・目標を持つことに消極的な生徒がみられることから, 精神的・社会的な自立を促したい。今後キャリア教育の視点に立った基礎的・汎用的な能力の育成が急務と考えられる。

☆各教科や道徳, 総合的な学習の時間において, 今まで積み上げてきた話し合い活動が浸透しており, 自分の考えや広がりを感じている生徒が多い。また, 文章を書くことを苦手とする生徒が比較的小さいことは特筆する部分である。

★授業の導入で生徒に学習の見通しを持たせ, まとめで振り返りをさせる主体的な学びを確立するために, 「甲府スタイル」の授業づくりの視点に基づく授業改善を一段と進めていく。

★家庭での学習で, 自分で計画を立てて勉強をしたり, 学校の宿題や授業の復習をしたりする生徒が, 全国平均と比較して少ない。また, 携帯電話, スマートフォンの利用時間が長く, 帰宅後の多くの時間が費やされていることが家庭学習などにも影響を与えていると考えられる。家庭学習の重要性を生徒に十分理解させ, 家庭と連携して改善を図っていく。

南中では, 毎日の授業や部活動, 特色ある活動(応援・合唱・JRC委員会活動)などに, 力を入れて取り組んでいます。一方, 生徒への質問紙調査から, 家庭学習の時間が短いことや携帯・スマホの長時間使用が課題となっています。学校でも指導していきますが, 各ご家庭におきましても, ご理解とご指導をよろしくお願い致します。

